

2025年6月25日

各 位

T A C 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 多 田 敏 男
(コード番号 4319 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 野 中 将 二
電 話 番 号 0 3 - 5 2 7 6 - 8 9 1 3

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築とさらなる企業価値向上を目指すため、2024年度の取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要について、お知らせいたします。

1. 取締役会の実効性評価の方法

対 象 者	評価実施時における全取締役（14名）※監査等委員取締役3名を含む
実施方法	・全7項目計41問（前年度より1問追加、1問削除）から構成される質問票を配布 ・対象者は無記名で回答 ・質問票の内容及び回答の取りまとめに際し、外部専門家を利用
質問項目	以下の7項目に関する事項 ① 取締役会等の機関設計 ② 取締役会の役割・責務 ③ 取締役会における審議 ④ 取締役会と経営陣幹部の関係 ⑤ 取締役の資質と知見 ⑥ 株主との関係・対話 ⑦ 株主以外のステークホルダーへの対応

2. 評価結果の概要

上記による評価の結果、前年度同様に全ての項目において5段階評価における概ね4段階目（上から2番目）の評価となっており、当社取締役会の運営及び議論の内容について、引き続き総合的な評価が高いことが確認されました。これにより、取締役会の実効性に関する評価を開始した2019年度より6年度連続で当社取締役会の実効性が高い状況が維持されていることとなります。

本年度の評価では、特に「③取締役会における審議」の項目に属するすべての質問（新たに追加した1問を除く）において前年度の評価を上回ったほか、社外取締役の発言機会が適切に確保されている点や、当社が別途設置しているコンプライアンス委員会などからの適時適切な報告が取締役会に行われている点などにおいて高い評価を得ました。一方で、前々年度及び前年度において意見のあった多様性の確保に関しては、本年度末における女性管理職の割合が前年度末を1ポイント近く上回ったものの、取締役や管理職に女性を登用することについてのさらなる意見があり、より一層の努力を継続する必要があると判断いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、引き続き取締役会の実効性の維持・向上に取り組んでまいります。

以 上